京城新報

●新聞代 ▲一部二錢 ▲一ヶ月金五十錢 ▲三ヶ月金壹圓 ▲六ヶ月金貳圓 ▲郵税一月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 十月二十二日
發行兼編輯人 印刷人 山下英實
京城西署四千門通
發行所 京城新報社 電話六六三

暴徒鎭定談

「天嘯」寄

●暴徒鎭定に關して更に一言し度きは吾討伐隊の行動なり輪姦事件や飲食徴發や放火や無銭徴發を受取りつゝ其代價を給與せぬ抔の聞捨てならぬ沙汰は吾王師には萬々之れ無きを信ず然れども征討の役征露の役に於て上官の眼の届かざるを幸とし抵抗力なき人民を泣かせしこと幾回なるを聞ける吾人は今回特に不斷の注意を以て監視するの必要あるなり地方の韓民をして日兵の強悍に驚かしむると共に其節制規律に感服せしめよ強ひキッイ許りは武士に非らず孤弱に對する同情を發揮するこそ國民品性の潤飾にして其花に非らずや討伐隊は暴徒を討伐する任務あると同時に又日本國民の信頼するに足る品性を代表しつゝ實地に證明し行くの任務あるなり其行動中には保護政治の說明無かる可からず憲兵警官步兵騎兵是等は上官の命に從て驅馳するのみ失行ありと雖も罪や小なり願くは派遣將校に向て其任務の重大なるを訓飭せよ内訓的に非らずして公示的なれ斯くして韓民に吾討伐隊の信倚するに足る者なるを知らしめよ吾將卒の中若し訓示違反の擧動あらば被害韓民直接に訴報妨げなしとの大々的布告を出す如き亦當局の苦心を諒とせしむる一案ならずや道聽途說屢々吾人を驚かしむるは暴徒の才覺ある者往々口を討伐隊の放行無慚に藉りて反對の氣勢を煽動するに力むること是なり此種の惡口一々取上ぐる必要なけれど去りとて吾自ら注意するの必要無きに非らず暴徒は到處に擊退せられ追擊せらる爾かも依然として頑健なり西に滅して東に起り南より北に次第に蔓延し去るを見る是れ恐らく佐尉官以下に一任すべき問題に非らずして統治問題の全體なり即ち銃火討伐の外更に別樣の手段無かる可からさるを念ふ想ふに當局者必ず深慮あらん深慮あり度きを望むなり予は唯蒭蕘の一議を呈して此問題の容易ならぬを吹聽せば則ち足る

一年雜記

對星樓山人

雲峴宮の再興(下)

大院君は四十年間皇室と幾度の爭鬪を爲しつゝ、老の將さに至らんとし、而かも到底皇室との調和成らざるを見て、彼は其孫李俊鎔氏の性格に著しく愛念を增し、雲峴宮の血統は此孫氏によりて繼承せらるべく豫期した、此期望の發現は最後の宮殿事變の後に於て甚しかりしため、李俊鎔氏は過去に於て正しく李王朝の尤も怖るべき政敵であつたのである、雲峴宮は少くとも此愛孫によりて王室の迫害を受けたのである、十年房州北條の閑村に配所同樣の生活を續けたりしも之が爲めである。

然るに時勢の動搖は著大で、最近十年朝鮮の外交家で、政事家であつた皇帝は、自ら退隱せられた、其退隱の夕、其動搖せる淵潮に掉して、彼は悠々として歸國したのである、我翟は私交の厚きため迎ふるため水原驛まで行つたが、南大門に到れば當年半島の驕政太公の帷幄に參加したる故老や故舊雲霞の如くに歡迎した。愛孫氏は其夕南村の旗亭に客衣を解くの暇なくして雲峴宮に歸つた、十年間の謀叛兒は、何等の拘束無く、何等の遠慮なく、公々然として雲峴宮に歸り、端なくも彼は宗室の動搖を目擊するため、深く門を鎖して客を謝し、激潮の安定を待ちつゝあつた。

風說は彼の身邊より湧き、雲峴宮は重ねて政權の一軌道を作くるが如くに評判された、然し是れ眞の風說であつた、前帝の退隱は是れ自然の調和である、前帝の政權は放棄是れ自然の雲峴宮再興である、孔德里の墳墓は改修されるし、前帝は四十年振りに其蕃家たる校洞の兄君を訪問せられ、李載冕氏は大使として皇室御名代役を力められ、李朝王室に蟠屈したる四十年間爭鬪の幕は茲に終結を告げたのは王室の大なる幸福である。

外國武官の觀たる大演習(三)

(某强國武官の批評)

▲步兵の前進隊形

十六日栃木南方に於ける大衝突中、東軍第三師團步兵の並木坪、藏井、片柳、に亘る第十五師團の線に對する前進隊形は御美事でした、偶々第十五師團の一部隊の爲に向山の高地線より其側面を打たれましたけれども之には栃木停車場附近に於ける放列の掩護が充分有効でありましたから此大部隊の前進は左程の損害を蒙らずに强襲を遂行し得たものと見て宜しいでせうさて步兵の隊形躍進の工合は先づ遺憾が無かつたと私は思ふ西軍の野砲と機關砲とは此前進步兵に對して其の威力効力を極度に發揮したると認めましたが此猛火中を隊伍整然卷舒自在に數千米突を突進した有樣は何とも申し上げやうもない素晴らしい盛觀と我々は評し合ひました、但西軍の方を觀察しますると突角になつて居る、並木坪藏井の一地點は此第三師團及び其友軍たる第一師團の右翼に對し最も著るしい弱點を暴露して居ましたから之を實戰の場合に當箝めたならば如何なる結果を齎らすであつたかと聊か之が配陣の上の疑問です

▲掩堡作業の敏速

私は兩軍の各地點に於ける步兵の作業を實見しましたが伏射掩堡で約五分膝射掩堡で約三四十分ばかり立派に出來上つたか敏速といふ點に於て流石に日本兵であると感じました地物を巧みに利用することと工具の輕便で大概の地質ならは工兵の助力を仰がないことと堅々と緊て縱みのない働き振りなど感服の外なく私は殊に深い印象を留めました工兵の架橋作業に就ても同樣の感を催しました、前年鴨綠江、太子河乃至渾河の架橋にも成功したのも要するに此素養があつての事と切に當時の光景を想起すのでございます

▲輜重の無いのが大遺憾

今度は輜重は一切假設となつて實際の行動を拜見する事が出來ぬのは甚だ殘念です、されば馬匹の徴發其他に少なからぬ御都合があつての事でせうけれど縱し戰略戰術の研究上には何等の關係が無いにもせよ之を加へたならば特別演習は一段の効果があつたかと思ひます、敗軍の側なぞは面白くないけれど奉天の大敗戰にクロパトキンがあれ丈けの大軍を那麼に墮潰したのは少なくとも輜重の運動老練であつたからでせう日本でも今後此演習を爲されては如何です

▲上等兵にして此材幹

私が第十五師團の防禦工事を見て居る時一人の上等兵は一方面の卒を督勵して頻りに活動して居りましたが一人の卒が不圖背部を敵に見せたのを咎めて『敵に背を見せるは日本兵の耻ぞ』とキメ付け疲勞の色ある者を見れば直に工具を把り代つて工事を急ぎ全線を駈け廻はつて瞬く間に立派な掩堡を拵へ上げた態度腕前上等兵にして此人があるかと私は深く感心しました軍隊の單位が斯く活動すればこそ全軍の大活動となる譯です

▲振分髮の女丈夫

私は栃木停車場附近放列の傍にうら若い振分髮の可愛い御孃さんが殷々たる砲聲を物ともせられず、いと嬉しげに見物をして居ます故、私は「恐くはないか」と尋ますと其れ孃さんは凉しい微笑を含んで『あたし面白い』と答へたまゝ見返へりもせずに砲彈の行衛を瞠つて居りました、米國にも歐州にもかゝる例は見られますまい、日本軍の强いといふのは偶然ではありませぬ

▲戰時にも優る熱心

演習地附近人民の熱心な有樣は前日も申上げましたが私は歐米には迚もない一例を見ました私共の宿舍の隣に壽仁堂(院主は岩間岩太郎氏)といふ病院がありますが此病院が先頃外賓の宿舍に充られると、同氏は直ぐさま患者を他へ移し新來の患者を謝絕し日夜一意其接待に奔走して居られるといふ事です何といふ美譚でありませう、後で聞きますと前項の健氣な少女は偶然にも同氏の令孃つま子さんといふ方でありましたとき、小說にもありさうで實に立派な話と私は早速手紙に認めて鄕里の娘に申して遣りました

北海道拓殖促進策(下)

(北海道長官河島淳氏談)

今日我道廳が執る所の拓殖方針上、最も歡迎する所のものは、家族を引纏め來る所謂自作農に外ならず。故に余は是等の自作農に對しては十町步以內の程度に於て無償にて拂下をなし、開墾終りし後には所有權を付與せんと欲す。而して大規模なる拂下出願者に對しては樹木及地積に就て各別に有償の方針を採り、或期間に於て開墾に着手せざるか、又は開墾を了せざるに於ては、斷然沒收する樣、法律を改正したしと思ふ。何故に自作農と小作制度を建てんとする大規模の大農出願者との間に有償無償の區別を立て、且つ有償の方に對し嚴重なる取締法を設くるの必要あるかと云ふに從來大規模の開墾者は小作人を募り開墾地へ送り込みはするものゝ、其の名前人若しくは責任ある總代は渡道せず、折角送り込みし小作人をして立往生せしむること往々ありたるのみならず、又小作人に墾開せし其の地面の大に改善せられ、土地の價格亦前日に倍蓰するに至れば、地主は小作人の辛苦をも斟酌せず、直に之を他へ讓渡して巨利を博するを常とし、買入れし第二の地主は亦單に土地賣買の商人たるに止まり、小作人に對する情誼とては毫も之なく其の土地を保有する間は唯小作料を引上げ又は小作年限の短縮にのみ着目し、折角立派に開墾せられたる土地も、爲に時として再び原狀に退步するの不幸を免れざるが如し。現に毛利家の地面の如き、立派に開墾せられ收穫高逐年增加の景況なりしより小作人等も持主が立派なる毛利家なるが爲め、殆ど我が所有地に對するが如き熱心を以て漸次改良施設する所ありたるに、毛利家が一朝にして之を他へ賣却する事となり非常に小作人等の混雜を釀したる事ありしが如き、大規模なる拓地を目論見るものが到底道廳の方針に副ふ能はざる著しき例證にして、亦余が法律の改正を希望する所以なり。顧みるに移住の狀況は年々進步一方にして、現に昨年來十万人近くの移住者ありて、以て其の一斑を察するに足るべし。斯くの如く移住增加するも、北海道の面積は、尚ほ現時人口の約五倍を優に容るゝに足る余は土地處分法改正を以て益々北海道の拓殖を進めんと欲して已む能はざるのみ。

釜山海岸工事の狀況

釜山港將來の發展をトするに足るべき一大工事として其竣成を期待されつゝある海面埋築工事は本紙によりて屢々報じたる如く日夜工事督勵中にて着々其步を進めつゝあり目下工事進行の模樣を聞くに

▲新停車場敷地 稅關擴張工事に屬せし阜頭の南に面し之と聯絡を保ちて當港に於る貨物の集散の地點となるべく工事費四十萬圓を投じて經營中の新設釜山停車場は敷地約二萬坪にして三十九年四月廿日工事着手以來着々進捗しつゝあり既に九分通りの竣成を告げたるよしにて豫定期日(四十年四月)に先ちて竣工すべき見込目下埋立に要する土砂は釜山鎭より滊鍊車及船約百雙を使役して運搬しつゝあり每日使役の韓人夫約六百人にして一日の工程四百坪を埋立居れり

▲船溜工事 本年四月一日の起工にして凹字形をなせる周圍約三千坪護岸工事を稅關工事部の經營とし其背面約七千坪即ち將來に於ける殷振の市街地形造るべき埋築工事は釜山埋築會社の第二期工事として目下三分通りの埋立を終りたるが土砂は大廳町よりするものと北濱よりするものと二線のトロッコ七十臺を設け三百の韓人夫を使役し居れり一日の工程約二百坪にして海岸は捨石の礎工事を急ぎつゝあり之に要する一日の船數四五十隻にして來年八月中竣成の豫定、此工事費豫算十五萬圓

▲稅關阜頭 稅關工事部第一期工事なりし稅關阜頭は工事費十二萬圓を投じて客月三十一日を以て全部の竣工を告げたるを以て直ちに第二期工事として之に約百五十萬圓の防波突堤を設け同時に片棧橋を敷設すべく同工事に次で之に上屋倉庫の建設及び單復の軌道を布設せらるべき貨物は一に此により吞吐せらるべく當港の將來亦大に面目を更むるものあるべしといふ

匪徒の巨魁捕はる

本年二月十三日南原鎭衛隊及び郵便局等に來襲せし匪徒同郡民金孟及金龍文の二名は目下全羅南道谷城郡地方の暴徒に內通し居れりとの情報ありしが去る十四日各自宅に潜伏せるを探知し之を逮捕し目下取調中なり金孟は襲擊當時の指揮官にして追擊隊のため臀部に貫通銃創を受けし痕跡ありと云ふ

文苑

秋十句

金子雨翠

外濠に散る門内の柳かな
壷門を鎖せる家や柿赤し
栗の實が落つる侘しや板庇
秋の空遠山赤く暮れにけり
銀杏先づ黃ばみて秋を示す哉
落栗やよべ風吹きし裏の山
朝寒の屋根に來て鳴く鵯かな
善政の碑に柳散る夕日かな
鳴り物に菊人形や凡天下
菊の戶によき人宿る灯影かな

小說

紘のみだれ(十三)

永井櫻園

清之助が顧客の青年と常盤樓に別れて我家に歸つたのは今五分で一時を打たうと云ふ時であつた。養父の勇五郎はまだ寢もやらず、平常すら膳酒に舌鼓打つ身の、殊更今日は松の內、それもまだ三ヶ日と云ふので、田作、煮豆、數子、煮染などを前に列べ、鮪の刺身を唯一の肴に、既や余程酣したものと見え、赧ら顏を赤銅色にして、如何にも愉快さうに杯を傾むけて居た、表戶をガラリと開けた音に、其と知つたか、例の夏れ聲で「れ歸かエ。」と、推測した。

「ハア。」と、答へつゝ戶締をして座敷に上つて「れ客さんが料理店から招んで下すつたので謝絕申さうかと思つたんですけど、是非とでも宜いからと仰しやるし、それにれ師匠も往つた方が宜からうと仰やるので、寄席が了てから招れて往きましたので、それで斯麼に遲くなりましたの、寢むかつたでせうね。」肩掛を脫りつゝ斯う云つて長火鉢の傍に坐つた。若清之助が寄席に出ない前に、斯樣に夜更てでも歸らうものなら、突如怒鳴付た揚句に打ち打擲も爲兼まじき勇五郎も、清之助の人氣が非常な好評なために、惡い顏一つ見せず「然うか、其りやア宜かつた、私も大概那樣事だらうと思つて、寄席から歸ると飲始めて、モウ歸るか、歸るかと待つて居つたのだ。奈何だ腹が能く減てるかられ茶漬でも食べないか。」と、和く云ふ。「いゝゑ、私は御馳走になつて來たから、何にも欲しかあないの……。」「然うか、其ぢやまあ茶でも入れて飲むが可い。」と、飲乎の酒をグッと空ける。「一体に客と云ふのは甚麼方ぢやッた。」と、又銚子を取上て樂しさうに酒を注ぐ。清之助は火鉢に手を翳して、其手で顏のあたりをなでながら「れ客さんは何所の書生さんでしたの。」「ね〜ッ書生……然うか、私やアまた何所の富豪の若旦那か何かと思つて居た。書生や何かでは爲方が無いね。」と、張合の拔けたやうに言つて、チビリと杯に口を附けて「しかし、まあ〜書生にしても招んで呉れるのは結構だ。人氣が無きやア其盡に居るかとも言つて呉れるものは無いからね。今夜も私の傍に居た人が、先代の綾之助より旨いなんて賞めて居つたが、此の人氣を外さないで、ウンとまあ腕を磨いて、早く看板を揚げるやうになつて呉れないと、私も旨い寢酒の一つも飲めないと云ふものだ。」と、又グッと一飲に空けた。「そりやア私だつて、其の意で一生懸命に稽古して居るんだけれど、まだ出たばかりで思ふやうにならないんでいもの、もう暫く辛抱して居て下さい、此處二三ヶ月も經てば少しはれ父樣の足になるやうに爲るわ。」と云ひつゝ、先刻常盤樓で青年が與れた紙包を帶の間から取出して、洋燈の明に讀むで見ると表斗と平假名で書いて、其下に山田邦男と記してある。口の中で二三度山田々々と繰返した後、包を擴げて見れば、中には新紙幣の五圓札が三枚包むであつた。

京城新報

副統監を歡迎す

本社長峯岸が經濟協會に於て述べたるもの也

曾根副統監閣下、閣下は今夕本會へ御臨席を玉りしのみならず極めて有益なる御演說を私共のために爲し被下たることを深く感謝仕ります

經濟の要義は可成自由にして濫りに人爲的檢束を加ふるものにあらずとは子爵今夕の御演說中にありたるが私共も實に仰の如くに思ふのであります

而るに昨年統監府が出來まして以來同府が如何なる風に經濟行政を遣られ居つたかと申すに甚だ申惡いことであるが一の水原勸業模範場を作つて良績を擧げた外は皆杜撰極まる事ばかりし居つたと云の外はないのであります否只に杜撰なるのみならず或點に於ては憶に子爵今夕の御演說の主旨に全然反對の遣方を爲して居つたのであります

まつ第一に引合に出すのは工業傳習所であります此工業傳習所は統監府が韓政府に指圖して韓國工業奬勵の爲に作らせたものであります而るに此工業奬勵の趣意が實に馬鹿々しいと申すは統監府の考は曾て維新前後に日本內地に工業を起して外國輸入品を防ぎたる如く韓國の工業を盛にして外國輸入品を防がんとするのであり升而るに曾て日本にて防ぎたるは歐米よりの輸入品なるが韓國で防ぐのは外國品と申せば其十中の八九は大阪の日本品であります統監府が態々世話を燒いて日本よりの輸入を防がんと企つるとは實にあきれたる次第であります

第二は統監府が我移住民間企業家に對する態度であります從來統監府は民間企業家を目するに空權家なる惡稱を以てし新企業家が何か同府に出願することあれば常に偏見を以て其出願を取扱ふて居る今夕玆に居らるゝ第一銀行の市原君京城日報社長伊東祐侃君の如きも曾て自働車商賣を京城に起さんとして其特許を統監府に出願したるが只に許可せられざるのみならず同府の官憲よりは兩君共所謂空權家として取扱はれたのであります、空權とは一體ドウ云ふ意味か存じませぬが統監府の筆法から云へば外務省が支那に於て取りたる專管居留地も將露領沿海州に取りたる漁業權も空權となるのである而し私共の考では決してソンナ譯はないのであります

第三は平壤礦務所に屬する煉炭事業であります同事業は統監府の指圖にて韓政府が目下官營をして中々成績が良いサウであります而るに右の事業は不遠某なる人に讓渡さるゝソウであります私の言ふところが間違つて居れば既に居らるゝ巨智部博士の御訂正を願ますが私は左樣に承知し居るのであります官營良きか民營良きか夫は別問題であります經濟行政に一定の方針がないことは是にても明に判るのであります如斯く例を擧ぐれば澤山ありますが要するに以上三つの例丈でも統監府從來の經濟行政が如何に杜撰であつて私共をして同府中一人の經濟家ありやを疑はしむる次第であります

經濟行政に滿足の識能なき當局者が濫りに杜撰なる計畫を立て若しくは無用の干涉をなして民間經濟の發達を阻害して居つたことは事實であつて實に迷惑の次第であります此時に當て只に政治家としてのみならず只に精神家としてのみならず吾邦現代の偉大なる經濟家なる曾根子爵が副統監として今回御來任相成つたに付きましては統監府の經濟行政も是より大に改められ干涉沙汰も止み韓國在留邦人間の經濟の發達が大に見るべきものがある樣になりますことゝ信ずるのであります此意味を以て私は子爵閣下を御歡迎申すのであります、

東京電報

▲三元老會議（二十五日發）

山縣松方井上の各元老各大臣は本日早朝より首相邸に會し明年度以後の財政計畫に就き密議をなし午後も引き續き協議する處ありたり

▲清政府の抗議

間島に於ける日本官憲が清國人を酷遇するとの理由にて我政府に抗議せり

▲元老會議後報

昨日の元老大臣會議は來年度豫算に付き決定したるが四十二年度以降の財政計畫に付ては伊藤公の意見を聞き更に協議する所あるべし

▲加奈太移民問題（廿六日發）

加奈太勞働大臣は昨日林外相を訪問し移民問題に付き會談する處ありしが相互の意見逕庭なく談笑の間に協議を遂げし模樣なり

各地電報

▲厚待嶺の激戰

二十五日午後零時四十分我軍厚侍嶺の頂上に達せんとする時に宮部中隊と暴徒三百と衝突激戰を生し我兵の負傷五名敵の負傷未だ判明せず目下進擊中（二十六日午前八時咸興發）

▲木材廠雇員殺さる

二十三日北靑西北約十一里厚侍嶺にて木材廠雇員荻原森虎北靑に來る途中賊多數に砲擊せられ遂に銃殺せられたり（二十五日午後九時咸興發）

雜報

清華亭の會合

伊藤統監は再昨夜高崎男を隨へ韓國の某々等と清華亭に於て會合し何事か協議する所ありたりと此會合は多分現內閣改造に就ての協議なりしならんと京童は傳へり

●統監の元老大臣召集　伊藤統監には昨日韓元老大臣を官邸に召集せられ新官制に付一場の訓話を爲されたる由なり

●統監優遇の次第　統監伊藤公爵には此程韓皇室より五百年間未だ曾て無き優遇を表せられて親王待遇となり加ふに太子太師として無比の敬禮をも加へられたりしが更らに正一品韓國の高爵を酬ゆることに定まり居れりと統監の韓皇室に於ける信任威望推して知らるべしと云ふものなり

統監邸の披露會

伊藤統監には今回皇太子太師に任ぜられたる披露と歸京の告別とを兼ね昨日午後一時半より日韓の重なる高等官五十餘名を官邸に招待し宴會を催したり

●參與官會議　參與官會議は昨日も早朝より例の官制問題に就て協議を重ねたり

仁川の宗谷艦歡迎　元ワリヤークの後身

韓皇太子御渡日の警護艦として宗谷を派遣さるゝ事は既報の如くなるが右宗谷は元仁川港頭に於て敢果なき最後を遂げたるワリヤークの後身なれば仁川に取りては斷つ能はざる關係を有するを以て今回の入港を期し川官民及三新聞社は盛大なる歡迎會を催す計畫ありといふ因に其期日は來月二三日頃となるべしと

●自衛團下付金　統監府より今日までに自衛團へ下付せられたる金額は二萬圓なりと云ふ

咸鏡道の宣諭

宣諭使として目下咸鏡北道南部巡回中の韓觀察使は本月三日永興に於て各社面長及郡民を招集し宣諭をなしたり其要に曰く各地方愚民の時宜を誤解し胥動浮訛暴徒を煽動し無辜の生靈塗炭に苦しむ太皇帝陛下叡慮を煩はされ聖旨を布かん爲め各道に使臣を派遣せらる然して吾咸鏡南道は我に命じて兼任せしめられたるを以て勅命を奉承し爾等人民に告ぐ蓋し我國は古より世界各國と交通せず但だ清國に附庸し每年一度使臣を送りて朝賀せしのみ其他文明國との交通は全然是れ無かりしなり故に政治は益々解弛し風習日々に腐敗して漸次傾頹衰微の極清國の羈絆を脫する能はず東洋の大勢將に傾覆の境に至らんとせり此時に當り日本國は我國と近隣の關係より譬へば唇齒輔車の形の如く我國微弱なれば則日本亦困難なるの地位にあり故に將に中午の年日本國は大に兵を動かし巨款を費して淸國を伐ち我國を扶起して獨立の國となし國號を大韓と改め王號を尊崇して太皇帝と稱し年號を光武と建て肩を世界列強に比す豈快ならんや然れども中央政府及び地方政府に任職の臣等外は則ち開明なりと雖も內は頑固にして文明の如何を知らず權柄を操弄し虐政貪饕し民を視ること牲の如し斯の如くんば千歲を經るも畢に改善の期なきなり日本國は文明を先覺し開明敎化治然として隆盛たるが故に是所に於て大ひに覺悟する所あり開明風化を模倣せんと欲し日本政府と契約して文明燗熟の人を請聘し中央地方の政府に分置して補佐の職に任せしめ腐敗の頑習を革新し文明の新化を開き利國便民の方を發達せしめんとせし者なるに拘らず鄕曲愚昧頑固の輩之れを誤解し以爲らく我韓全國日本の併吞する所となると乃ち煽動浮訛暴徒を皷動し無辜の生靈をして起居の所なきに至らしめ遂に惡意の末案を來せり假に日本をして我韓國を取らしめんには僅々三時間を出でずして即ち能く之を取るべし而かも何の畏憚する處ありてか之を取るを敢てせざる言念此所に及んで人民の愚昧誠に慨嘆に堪へず惟爾人民は我奉饒の聖勅を聽き確然改悟して克く惡意を體し各其業に安んずべし云々

龍安賊襲詳報

龍安分派所に暴徒來襲したることは全洲電報によりて既に報道したる處なるが今其詳報を聞くに去る十六日午後一時頃暴徒約三十名礪山方面に向へる形跡ありしにより同分派所員は礪山其他の分派所に急報して郡內の警戒に從事中午後七時三十分頃暴徒は突然來襲して分派所員山中巡査及石井巡查の居室を亂射せしに依り所員は先づ家人を避難せしめ少時應戰せしも急激の亂射を受け彈藥を取るの暇なかりしを以て繼續應戰の術なく辛じて包圍を破り兩巡査は各々分離して西北方山中に入りて避難せるが賊は午後十一時頃退去したりとのことなるが賊は分派所の公文書彈藥及所員の私用品等を掠奪せり而して此の賊數は三十名以上にして分派所襲擊後同郡衙に至り郡守及び主事稅務署書記を脅迫し公金八十圓を奪取し且つ郡守等を道案內者として郡內德洞まで連れ行き放還せり賊の首魁と認むべき者は鄭（七十歲）宋（四十歲）と稱する者にて其の言葉より察すれば彼れは京城及忠淸道の者なるか如し此日金州增田警視は部下と共に各方面に密偵を放ち精査せしも一つも得る處なく結局咸鏡方面より錦江沿岸の捜査を必要と認め同方面へ向ひたり

黃海道の暴徒

黃海道長淵郡內に集合せる暴徒四百名は十八日我軍の爲めに擊退せられたり▲谷山郡伊寧面巨伊所里に去る二十日暴徒七百名集合し漸次邑內に來襲すべしとの情報あり

楊根の暴徒

二十一日楊根郡建美里に暴徒四百餘名集合し間もなく退去せしが邑民は他に避難するもの多し

暴徒電柱を倒す

去る十七日忠淸北道忠洲より五里の地點に於て暴徒の爲めに電柱數本を倒されたるが直ちに修理し三十日より開通せりと

賊首魁の遁走

龍仁郡放牧洞居住の金擧玉（三十）は同地方に於ける暴徒の首魁たる聞あり豫て其筋の注意中なりしが廿一日巡檢金振聲、李戴善の兩人同郡牙谷地方偵察の機會を以て其在否を確めんと同人の居宅を訪ひ面會を求めたるに金擧玉は早くも其巡檢なるを察し矢庭に護身用の拳銃を發射したるに第二丸は金の右股に命中し之れに避易して逃走せるを二巡檢は追跡したるも終に踪跡を失ひたり金擧玉は曩きに陽城郡守を殺害したる嫌疑ある者にして該地方は多數暴徒を出したる所として今尚平穩に復せざるに依り不日軍隊と協力逮捕せん筈なりと

巡査と兵士との殉難

咸鏡南道甲山郡黃水院附近に集合せし暴民は厚峙嶺に據り去る二十二日我巡查一名兵士二名を殺害せりとの報ありしも信僞未だ判明せず

暴徒郡守を殺す

江原道楊口に集合せる暴徒は二十二日我軍の爲めに擊退せられしが同邑に避難し居たる杆城郡守は暴徒の爲めに殺害せられしとの報あり

●賊良民を銃殺す　去る十三日賊三名抜刀龍仁郡慕賢面第山里に亂入執網李晉祐を恐喝して金若干を掠奪し更に十五日午後三時頃約四十名の暴徒銃器を携帶して陵洞に侵入し鄭某外三名を捕へ廣州宮安に至りてこれを銃殺せりといふ又二十日夜擔銃の暴徒二十餘名器谷面長李承夏宅に侵入し同人及び父洞民外一名を捕縛し刀を以て亂打し重傷を負はしめたる後金員を掠奪し去れり

●放免罪囚　今回發布せられたる大赦令に依り放免せらるべき旣決罪囚は平理院漢城裁判所合せて二百餘名に及べりとのこと也

輸出入重要品商況（一）　仁川商業會議所調查

本季間に於ける當港貿易の情勢並に一般商勢は前既に之を說けり今輸出入重要品の各個に就き其商況を叙述すべし

（一）米　一月は籾及玄米とも前月に引續き入津相變らず盛んにして取引相當に行はれしと雖も前月に比しては其半に達せざりき即ち十二月中當港穀物協會の取引高は籾約一萬石玄米約一萬四千石白米七萬石大豆約二萬七千石にして本月は籾約九千石玄米約一萬四千石白米約六千石大豆約八千石に過ぎざりし然れども玄米の出廻はりは精白米の輸出に伴ふて盛況を呈したり二月に入りても玄米の廻着は先づ相應に是れあり取引も亦之れに叶つて相應に行はれしと雖も前月に比して其額多からず輸出も亦日本に於ける相場下落の爲め不引合となり各店とも見送りの氣味にて前月に比しては余程の減少を來たし只沿岸各地へ輸送するもの稍多きを致し月末に於て當地に推積せる石數は六萬六千叺其內精米所並に米穀商持ち二萬叺韓人持ち一萬九千叺貿易商持ち定期筋持ち三萬一千叺に達したり三月に入りては在荷潤澤なるに拘はらず中旬頃より各地解氷の爲め出穀一時に多きを加へ殊に白米の出廻はりは前月に數倍し相場は自然低落を告げ輸出亦可なりに引合を見るに至り前月に數倍するの輸出をなせり四月に入り上旬は一時大に出廻はりありしも日本安の爲め荷動きなし稍停滯の氣味なりしかば中旬より下旬にかけ大連へ向け輸出開けし爲め相場は持合となり產地賣惜みの姿にて出廻稍減少するに至れり五月に至り日本相場の好況に連れ地方より出廻はり多く引續き相應の輸出あり相場も稍活氣を呈し產地の相場高含みの爲め輸出捗々しからず六月に至り精白米は大連方面への輸出活氣を呈し相場も亦前月に比し高値を告げ各地方より出廻はり多く好況を呈したり玄米は內地の高値に連れ幾分騰貴を示し前半月は阪地荷閒への爲め需用減退に傾き捗々しき取引無りしも後半月に兵阪市塲順境に復し相應の輸出を見るに至り七月となりては海外に於ける米穀主要產地たる蘭貢西貢等の米價頻りに騰貴して本邦への輸出不引合の狀況を呈したるより端境期に及び在米の供給不足を免れざるべき情勢あるより阪地に於ける正米の市況は盛況を呈し當地三井物產會社及日本より買手顯れて買占を爲し大阪神戶橫濱四日市長崎等に向け輸出を試むるに至り玄白米とも非常に鳧口よく又精米は大連へも不相變滊船便每に輸出あり在米は減少一方に傾き月末に至りては各地より廻米多からず精米は五六十錢方騰貴して一等石拔十五圓七十錢を呼ぶに至れり

仁川稅關と米穀價格

仁川稅關に於ては在韓商業會議所聯合會の決議に基づき輸出米穀の鑑定價格を一定すべく目下審議中

鑛業許權可

鉛	忠淸南道定山郡冠面背陽郡東上面	九六五、七九三坪	忠淸南道太田幸町　力武善七
鉛	同	五九二、〇二八坪	
石炭	京畿道通津郡古里串面	九八一、〇六三坪	明治町一丁目　相原恒三郎
金銅鉛	慶尙南道昌原郡北面	三〇七、四五〇坪	釜山西町四丁目　馬木健三外一名
金	京畿道安山郡草山面	四九九、二四五坪	明治町一丁目　羽多野松太郎

●押上少將の訪問　一昨日入京されたる陸軍兵器廠長押上少將は昨日午前長谷川司令官を官邸に訪問されたり

●高崎男の上京　統監府屬高崎男は來月五日伊藤統監に隨行して上京の途に就く由

●信夫理事官上京　信夫理事官は昨日上京せり

●南浦理事官　過日來仁せる鎭南浦理事官秋本豐之進氏は昨日午後出帆の薩摩川丸にて釜山に赴きたり

●鹽川事務官の歸邱　過般來上京中の鹽川事務官は昨日大邱に歸れり

●稅關吏の上京　荒井次官の歡迎會に出席すべく當稅關よりは宮木稅關長及伊藤黑部、濟藤の各幇辦昨日午後上京せり

●一昨日の參內者　一昨日昌德宮に參內したる者は總計九十名にして內女三十一名重もなる者は義親王妃、完興君、李載覺、永宣君、李埈鎔、李宮相等なりし

仁川第二小學校の民會

仁川第二小學校を當建設部廳舍を以て充つる事は既報せしが其後の模樣を聞くに該校は目下各室の模樣替設計中にて若し開校の曉は第一小學校と各獨立して校長を置き尋常の生徒を收容し第一學校には高等及尋常の一部を收容する事とし來年度より開校の豫定なりと尙此れにつき不日民會を開き審議する筈

●開鑿道路檢查　仁川穴門開鑿道路竣工したるに依り昨日稅關關、池田兩技手の檢查を了せり

●父兄懇親會　仁川小學校に於ては來月日（雨天なら來月二日）父兄懇親會を催す筈

●万石洞の精米所　神戶市兵庫の精米業者飯冶米藏氏は今回仁川萬石洞に精米所を建設する筈

木浦通信　特派員

▲編輯員各位益々多に入り益々其の威を加へんとするの候錐硯愈々御勇健に被渡爲賀此事に不堪候サテ疾くより當地の事情等報道可致筈に候處ッセ一身上の多端に紛れ御無音いたし候段不悪御宥恕被成下度候とは申せ別に眼を驚かしむる程の事項も無之候へども左に少しく有りし事のみを申上ぐ可候

▲去る廿二日商業會議所樓上に於て現下經濟界の委靡不振を救濟すべく臨時會開會せしに來會者は會頭福田有造氏の病氣缺席と森金藏氏の事故缺席を除くの外他は皆出席し藥鋪に關する件、及仲立人取締に關する件に就き討議せしに論議區々ナカ〳〵の壯觀を極めしも結局意見が藥鋪濫用禁止にありしを以て滿塲一致にて決議いたし候

▲次に仲立人取締に關する件は調查委員報告の通り可決して午後四時散會いたし候

▲木浦新報社長白城大內暢三氏は今回自己の都合により社長を辭退せしに付き氏は去る廿二日同社內に社員一同を集めて酒宴を張り氏の別辭あり野邑編輯長社中一同を代表し答辭を述べ和氣洋々の間に宴を終はり散會いたし候がなか〳〵の盛會にて候

▲釜山京仁間にあつて好評を博したる浮加連節芝居片岡鶴之助一座廿四日より本町通り二丁目一番地掛小屋にて開演せしが觀物に渴せし折柄なればなか〳〵の大入を占め居り候

「無限の熱血」を讀む

錦陵生

著者塘林虎五郎君は熊本の人なり、君夙に極貧の中より身を起し、刻苦多年終に自己の經營せる自治團として今日の盛を致さしめたり、思ふに君が自治團の設立に着手してより爾來今に至る迄の苦心慘憺は實は非常なるものにして殆んど言語に絕し、人をして夢想だにも及ばしめざるものあり、蓋し自治團の性質たるや、恰かも孤兒院の夫れの如く、天涯地角告ぐるに人なく就くに所なき孤兒貧兒を養育し、以て他日社會に起つて之が生活の計を興へしむるにあり、其の主旨目的の高潔にして崇大なる大に天下萬人の尊敬に値すといふべし、君又人と爲り廉直にして異彝、且つ情義の念に富み敦厚の心厚く、而も事に當つて凛然奪ふべからざるの氣節を負ふ、宜べなり君が其の幼少より幾多悲慘なる事情の一身を纏繞せるにも拘はらず克く父母を撫め弟妹を勵まし、不撓不屈毅然として一道の光明に向つて勇進し、終に今は畏くも上は皇室の認むる所となり下又江湖篤志家の賛助を受くるに至り自治團父としての君が名は今や一般の景仰欽慕を禁ずる能はざるに至りし事や余は今回同團出張員として當地に來りし菊池氏より一本を寄贈さるゝの榮を得しかば敢て禿筆をも不省左に聊か之が內容を紹介するところあらんとす

マヅ開卷早々余をして斯の册子の如何に多大なる價値の存ずるやと思はしめたるは、其の　聖上皇后兩陛下及皇太子殿下並に妃殿下に献上せしに對し、之が受納の文面の奏々しくも寫眞版にて挿入ありしことにして又其他高崎正風氏の同團の性質と團父塘林君の熱心とを謡ひし書翰の插攄しあるには讀者をして一見敬仰の心を禁ずる能はしめざるものあり、而して之が今同團の要領を案ずるに

一、目的　自治團は貧兒寮の生徒にして毎年々齡十五才に達し退寮せしめられたるものを收容救護して自營自活の道に就かしむるを以て目的とす
但貧兒の不良少年にして他より入團希望者あるも基礎確定するまでは遺憾ながら謝絕するものとす

一、職業　自活團は團生各自の志望に依りて各商業見習諸工場の職工會社官廳の給仕小使等適宜其職に就かしむ又是等以外の志望者若くは不具癈疾及惡癖等あるものは自彊團に於て適當なる事業を施設して營作自活せしむるものとす

一、事業　自治團は在團生に自働自治の職業を與ふる目的を以て左の諸部を設く
（一）農業部（二）手工部（三）行商部（四）慈善新報部（五）印刷部
但時宜に依り事業の增設改廢を行ふことあり

一、維持　自治團は如上の諸部を維持經營するには本團發行の貧兒寮無限の熱血なる書籍を販賣して得たる純益金及び慈善幻燈會純收入金慈善家の寄附金等を以てするものとす

一、基本金　自活團は基礎堅實を圖るため明治三十七年より向ふ十ケ年を期し基本金五萬圓を蓄積するものとす

一、創立　明治三十六年四月一日

一、位置　熊本縣東坪井町五番地（本部）熊本縣八代郡吉野村字太平山（農業部）

一、盟約　自治團々生は自働自活を以て本領となすものなれば必ず團生自己の勤勞より成れる賃金を以て衣食することを入團當初　勅語の下に盟約するものとす

一、責任　自治團々父及役員は矢張り貧兒寮家族的敎養の精神に倣ひ團生が將來結婚齊家するに至るまで善導保護の責任を負ふものとす

讀み去りて余は其の諸綱目の慈善事業として徹底徹尾完全せるに嘆賞せざるを得ず、乞ふ更に余をして其の之が團父塘林君の苦心談に至り本文に就て批評する所あらしめよ。（未完）

揚井氏悲劇事件に就て

世人は本月廿二日本紙掲載の記事を記臆して居らるゝならんが倘念の爲該記事を左に再錄すべし

揚井栴藏氏自殺の噂

五十八銀行前韓國總支配人揚井栴藏は今は同行取締役として大阪に居らるゝが此程同行頭取高橋氏と行務に關し爭論の末短刀を以て自殺を計られたりと傳らる

廿三日以後の京仁二三新聞中には在仁川五八支店が大阪本店に照會して該記事の無根なるを憾めたりとの記事を揭載し居る向もあるとなるか這は本紙の關するところには非ざるなり本社へは該記事に付京城五八銀行總支店營業部長上杉松太郎氏が去廿二日來訪せられたるも仁川五八支店の代表者が言明したる如きことは言はれざりしなり否只に言はれざりしのみならず京城五十八銀行總支店代表者よりも將亦在大阪同本店の代表者よりも今日まで本社は該記事に付正式なる取消の申込を受居らざるなり但し本社が世人に御注意を願ふは揚井氏が自殺を遂行したりと云ふのと自殺を計られたりと云事の相違なり己に仁川五八支店が大阪本店に本紙記事に付照會したりと云へば在大阪の高橋頭取も揚井取締役も御存じなるべし而れば他は兎も角揚井氏にして健在ならば御本人より本社に宛電報にて取消を申込まる筈なり而るに未だ其事なし世人は之に付何と御考なさるゝや、目下五八銀行內は鼎の沸くが如く北村氏の如きは其渦中に投ずるを避けんが爲退職せられたるなりと云ふ斯る有樣なれば重役間の爭論は何時果つべしとも見へず高橋頭取の爲に極點まで或事柄に就て追窮せられたる揚井氏が大阪いくたまの別莊に於て此悲劇を演ぜんとしたるは其心事實に憐むべきものあるなり、記者は今回の悲劇事件に付开を說明すべき幾多の材料を有すと雖も記事關係の當事者が本紙記事を非認せらるゝまでは御預りと致すべし

●熊本貧兒寮の幻燈　過日來京せし熊本貧寮員廣田菊地の兩氏は各有志者及び同縣人の間に於て同情を仰ぎつゝあるが同氏等は一般邦人の同情を求むる爲め幻燈會を開く筈なりしも多額の費用を要すると岡山孤兒院の如く設備充分ならざるを以て各私宅に於て幻燈を催すことゝし既に各私宅に於て執行中なるが來る三十日の土曜には京城小學校に於て開會する筈なり同幻燈は同寮に於ける貧兒孤兒の養育、敎育、病兒の看護狀況、自活團の光景等にて篤志者は此光景を見て同情を垂れられたきものなり

●仁川行旅病者と慈善會　廣島縣山形郡加計町字津波百十八番地平民伊次郎弟古田榮藏（三十）は脚氣病にて去月二十七日以來又福岡縣始良郡蛭濱町三千二百七十二番地平民須田德二郎（二十）は病後衰弱にて去月三十日以來行旅病者として仁川避病院に收容せられる者なるが不日全治の上退院すべきも行旅病者として避病院に收容さるゝ迄どの身分なれば懷に一厘の貯へもあらう筈なく去ればとて韓國に知人緣者もなければ退院後忽ち糊口の途に差支ゆる悲境にある世にも不幸の者なれば渠等兩人の志望に任せて歸國せしめんとするも差當り旅費の支出に付き苦しめる折から仁川慈善會は之を聞き金六圓宛を兩人に惠與して退院の時には直ちに歸國せしむる筈なりと

●日清韓の荷馬車事件　一昨二十五日當地南大門外一丁目工藤源三郎に雇はれし韓人二名が麻浦街道を荷馬車を牽ゐて通行の折柄清國人王達先（二十）なるものゝ荷馬車に觸れて足部を負傷せり達先は已れの麁忽は棚にあげて同伴人と共に韓人を亂打するより一名の韓人は辛うじて其の場を遁れ雇主工藤に斯くと告げしより工藤は急ぎ驅けつけ見しに清國人は又もやこれを捕へて陳蜚漢語を喇れども更らに言語の通ぜざるを以て遂に清國人に誘はれて清國總領事館警察署に出頭したりしに意外にも荷馬車持主たるの故を以て其の罪を負ふべしとの說諭を受けたりといへり而して荷馬車は毀損せしめ馬匹も足部に負傷せしめ何れも現場附近に遺棄しありしが或は清國人の所爲ならん乎

少女の大當惑

狡猾なる口入業者
不屆至極の飲食店

世間知らずの田舍者、殊に思想も確ならざる乙女子に棚から牡丹餅よりもモット旨い話を持ちかけてこれを誘拐する惡漢わりと聞きしが爰に其の實例は山口縣大津郡深福村の生れにして廣島縣山縣郡南方村に兄を便りて滯在し居りし野村リウ（十八）といふ未通娘は兄の厄介のみになつて居るも氣の毒と思ひて兄の許を得て廣島市橫川町の八百屋岡崎某方に下女奉公を爲しけるに同町に住へる口入業者山根丈吉といへるが竊かに招き寄せて言へるには朝鮮といふ國は世界中の金持ばかりが集つて居る所にて庭の掃溜に金銀塊が捨てゝあることもある銅や鉛は道の邊りに瓦礫同樣に散亂して居る此所へ日本人が下女奉公に行くと日本では大臣でも出來ぬほどの榮耀榮華がせられた上に莫大な給金が貰はれる二三年も辛抱すれば五十萬や百万圓は懷中へ殘る其の時は駐在巡査や學校の先生所ではない郡長でも知事でも養子に來たいと申し込むれ前さんはまだ年は若し縹緻も十人並を優れて居るから三井鴻池から緣談を申し込んで來るかも知れぬが此のまゝ居たら何年立つても野村のたりうさんで縣會議員の奧さんになれることも覺束ない（つゞく）

●車夫の犯則　京城本町五丁目の人力車挽子愛媛縣平民早瀬乙次郎（三十）は去る十六日其の筋の禁制を犯し人力車を覗き入れたるを以て二十錢の科料に處せられたり

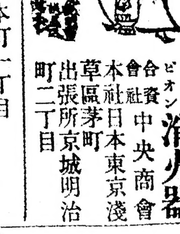
●韓人には油斷はならぬ　去る二十二日午後九時頃北清道久州居當時西小門內止宿中の尹致元（四十）は日の出町小島平吉所有の杉板三枚が屋外にありしを竊取せんとする所を所有主に認められ直ちに取押へられ巡行の巡査に引渡されしが證據不充分なる爲放還せられたり

●本町座の北村劇　本町座の北村劇は每夜大入を占め居れるが昨夜はオセロを出したれば尚ほ一層の大好評を博せりと例の通り本夜の替狂言を記さんに藝題は「照り兒」にて役割は左の如し

巡査部長島本榮（井上）箱屋佐助（新田）福原夫人とめ子（西本）醉漢吉藏（大島）藤原妻梅子（桂）婆れさめ（橫山）刑事杉浦清（吉岡）清國人馬偵鴻（谷）番僧策善（中澤）刑事藤島勇（保岡）乳母れさと（小泉）支配人黑田魁（青木）友田巡査（北山）署長福原猛夫（三木）藤島娘れとく（三國）藝妓島吉（三井）島山巡査（清水）書生、清國人（森）書生小林一郎（北村）

廣告

電話貳貳八番●●●開通
一陸送運搬請負
今般電話開通致候に就ては親切叮嚀を旨として御便宜を計り精々勉强仕候間舊に倍し御用命の程伏て願上候
京城南大門外一丁目
姬野荷馬車部

●本月十六日光化門前に於て實地試驗を行ひ其優大なる効を諸君に示せり

專賣特許
チャンピオン消火器
合資會社中央商會
本社日本東京淺草區茅町
出張所京城明治町二丁目

京城本町一丁目
別府組
電話七五八番

龍山櫻町
統監府鐵道管理局囑托
青木病院
（電話一〇四番）

開店廣告
旭町三丁目
古着及質商　南本店
龍山老松町（十字病院隣）
同　南支店

原金旅館
本店　仁川理事廳通（電話三三番）
支店　京城南山町（電話一〇七番）

廣告
往診午前
宅診午後
但し急患者は隨時往診
京城貞洞大漢門前
入院隨意
蘇生病院

오무도
オドール

廣告
●●牛肉すき燒
かしわ
永樂町二丁目赤門橫手
福壽
初玉事　福田千雄

南山町一丁目
（植村病院前）
貸席待合
末乃花
客室は淸潔にして叮嚀なるは本店の特色に御座候

龍山老松町
花柳病及眼科專門
十字病院
院主　醫科大學撰科得業　望月憲麿

直輸入荷着
セメント特約販賣
新荷着
浪板
廉價大販賣
建築及土工用具並小金物類一式取揃申候間御用命被仰付度候
仁川港本町通り
秋田商會鐵物部
電話一一六番

熊平製造金庫
東京　竹內製金庫
大阪　二重扉並ニ回轉式　消火器
韓國販賣部
京城本町一丁目
熊平商店
電話六二四番

綿類卸
洋反新薄團
京城明治町二丁目
唐川商店

히이로
ヒーロー
人力車營業
明治町一丁目
京城組
電話九四二番

和洋金物商
金物部
金釘洋鐵鋼
土工用器具類
洋物類一式
諸種油類
京城本町五丁目
卸部
精糖メリケン粉
和洋紙類
金庫及度量衡
トタン平浪板廿六番廿八番卅番各種
藤本藤次郞本店
長電四五番

新築中の處今般落成仕り本日より開業仕候間續々御來車被下度候
御披露
御手輕御料理
十一月三日
京城本町八丁目北へ入
元祿亭

廣告
齒科全般ノ治術
米國最新式義齒
診療時間　自午前八時至午後九時　齒痛患者ハ何時ニテモ來院シ又ハ御方ヘ往診ニ應ズ
京城本町六丁目（敷島樓橫丁）
米國齒科醫學博士女醫　中村安子

京城博覽會一等金牌受領

純良醤油

登録商標

釀造元 大阪府堺市 戸川源之祐

發賣元 韓國京城 戸川京城支店(電話六二九番)

特約販賣店

京城本町二丁目 本田滿壽男(電話四八番)
京城本町四丁目 前田喜總(電話一三七番)
京城明治町一丁目 唐川立造(電話二六一番)
京城南大門通り 村田源次郎(同三五三番)
水原 德永仙吉

一各種石炭大販賣

大ノ浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用トシテ右三種取寄セ貯炭能在リ御希望ニ從ヒ多少ニ拘ハラズ迅速御屆ケ可申上候
鍛冶用トシテ貯炭能在リ多少ニ係ハラズ御用ニ應シ可申候

當社一手販賣炭左之通リ
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大ノ浦五尺、大ノ浦三尺、笹原、滿ノ浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

諸官衙御用品調達

營業科目
紙類書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐デシン 穀物食鹽 織物染料
各學校用品調達

幷に委托販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
橫濱 百七十六番 ビユームエンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
京東 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
支店 仁川港濱町一丁目 電話二五一五番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二番

西洋御料理宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目(電話一二三番)

京城博覽會

名譽金牌授領

開店披露

各位益々御清福之段奉賀候降テ本店釀造之清酒ハ是迄韓國各地販賣店ニ於テ御愛顧御引立ヲ蒙リ漸次隆盛ニ趣候段奉深謝候此際一層擴張致サント今回出張店ヲ設置シ十一月二十日開業大勉强仕候ニ付御懸命御引立之程奉願候
敬具

釀造發賣元 肥塚京城出張店 京城本町三丁目十一番地(電話二一二)

大阪賣店 佐藤牧商店 京城本町二丁目(電話二九)

銀行一般業務精々御便利に取扱申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 七拾貳萬圓

株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店出張所 韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店(電話五八番)

為替取組先
内地	東山陽道 南海道 北海道 山陰道 臺灣	二十七ケ所 十三ケ所 七十五ケ所 二十三ケ所 二ケ所	東海道 北陸道 山陰道 西海道 韓國 清國	二十八ケ所 十ケ所 十三ケ所 三十ケ所 九ケ所 一ケ所

統監府 各官衙御用
荷物荷造及運搬

伊藤組
本店 營業部
伊藤友松
本町三丁目 (電話七百三十二番)
路町 (電話四十番)

本店 東京市日本橋區兜町
内地支店 大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、四日市
及出張所 下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、
及出張所 平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、義城
清國出張所 安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號 營業部 一一番
當直用 同 一二一番
營業部 三三二番
國庫部 六一一番
用度係 六二二番
分析所 六二一番

總支配人 市原盛宏
副支配人 國庫部長 三島太郎
副支配人 調査部長 竹山純平
副支配人 營業部長 木村雄次

丁稚入用 但十才以上十五才迄

京城本町一丁目(郵便局前)

若林支店(電話一四七番)

工學博士 藥學博士 高峰讓吉氏發見

胃腸(위장) 新藥(신약) 타카 タカヂアスターゼ

韓國一手卸元 仁川倉知商會 電話二一二三〇番

大阪商船株式會社 仁川出帆廣告

切符發賣所 仁川[illegible] 電話[illegible]
京城本町通リ角郵便所 電話六五[illegible]
荷客扱店 慶田組 電話四二[illegible]

● 關門、神戸、大阪行
基隆丸 十二月十三日前十時出
能登丸 十一月 日前十時出

● 大連、門司、橫濱 行
勝山丸 十一月 日

● 關門、宇品、神戸、大阪行
馬山丸 十一月廿八日前十時出

● 群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
群山丸 十二月六日後[illegible]時出
本浦丸 十一月廿九日[illegible]時出

● 群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戸、大阪行
千賀丸 十二月三日後五時出
筑後川丸 十一月廿六日後五時出

● 鎭南浦行
咸鏡丸 十二月一日後一時出

● 木浦、釜山、嚴原、鄉之浦、長崎行
木曾川丸 十一月廿 日前十時出

● 長崎行
信濃川丸 十一月廿九日前[illegible]時出

● 鎭南浦、大連行
河の浦丸 十二月[illegible]

● 大連、[illegible]行
木曾川丸 十一月廿七日[illegible]時出
勝山丸 十一月 日正午出

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡司商店 電話[illegible]

京城南大門通 巴商會 電話三〇六番

● 釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 十一月二十八日後[illegible]時出

● 群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
浦汐丸 十二月六日後三時出
第一オハヨ號 十二月一日後三時出

● 大連、大沽行
酒田丸 十一月廿七日後一時出
高砂丸 十一月二十八日後一時出

● 大連、秦皇島行
山東丸 十二月十七日[illegible]出

● 鎭南浦行
第一オハヨ號 十一月廿八日後三時出
浦汐丸 十二月二日後一時出

● 釜山出帆、元山、城津、浦鹽行
淡路丸 十二月四日

御注意 [illegible]ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ[illegible]